

小竹向原駅周辺のまちづくりについて

1 小竹向原駅周辺のまちづくりの目的

東京メトロ小竹向原駅は、練馬区との区境に位置しており、東京メトロ有楽町線・副都心線、西武池袋線の3線が乗り入れる区内で最も乗降客数が多い駅（乗換利用を含む）であるが、駅周辺の商業機能や生活利便施設の不足並びに区立向原小学校（以下「向原小」という。）をはじめとする向原エリア内の公共施設（以下、「周辺公共施設」）の老朽化などの課題もあり、交通利便性の高いポテンシャルを活かせていない状況である。

令和8年3月に改定した「板橋区都市づくりビジョン」では、小竹向原駅周辺の都市づくり方針として、隣接する練馬区とのつながりを活かしながら、高い交通利便性の利点を活かし、商業環境や生活利便性を向上させる土地利用を誘導し、くらしを支える拠点の形成を図ることとしている。

これらを踏まえ、小竹向原駅周辺のまちづくりについては、地域と連携を図りながら、駅に近接する向原小の改築検討を契機とした公共施設の再編・機能連携による生活利便性の向上及び新たな魅力創出と合わせた総合的なまちづくりの検討を行う。

なお、本まちづくり検討は、板橋区基本計画2035の施策9-1「地域固有の資源を活かした板橋らしい風景づくりの推進」に寄与するものであり、政策経営部、教育委員会と連携し、取組を進めるものである。

2 まちづくり計画並びに公共施設再編整備関連計画（方針・基本構想・基本計画）の検討

(1) まちづくり計画について

地域特性や地域課題並びに地域からのまちの将来像（以下、「まちづくり構想」という。）を踏まえ、時代の潮流や次世代技術を見据えた土地利用や都市機能、道路・交通ネットワークを検討する。

(2) 公共施設再整備関連計画について

老朽化した向原小の改築と合わせて、小竹向原駅に近接する向原小の立地を活かした向原エリアの短期的（公共公益サービスの提供）・長期的（都市基盤整備・土地利用誘導）な課題を解決するため、周辺公共施設の再編・機能連携方針とともに、まちづくりの起点となる向原小敷地での展開を具体化した学校施設を含む公共施設の再編整備に係る基本構想及び基本計画を検討する。

3 地域意向の把握について

(1) まちづくり勉強会の活動支援について

- ・ 町会、自治会等から推薦を受けた区民で構成する小竹向原駅周辺のまちづくりに関する勉強会を設置し、まちづくりの手法や実例などの学習・研究を通じたまちづくり構想の検討・作成を支援する。
- ・ まちづくり構想の検討状況やまちづくりの機運醸成を鑑みて、公募委員も含んだ協議会への組織移行を図っていく。

(2) (1)以外の地域意向の把握について

まちづくり構想の検討に際して、地域へのアンケート調査や周辺大学などへのヒアリングを実施するなど、多様な世代から広く意見を伺っていく。

4 まちづくりの想定スケジュール（案）

まちづくり計画を全体計画として、周辺公共施設の再編・機能連携方針の内容を含めて検討を行っていく。検討に際しては、まちづくり勉強会を含めた地域の意見を踏まえながら、検討を実施していく予定である。

	R8年度	R9年度	R10年度
まちづくり 検討関係	まちづくり計画(行政計画)の検討		
	地域意見 ↑	地域意見 ↑	まちづくり構想 (地元提言) ↑
地域関係	まちづくり勉強会等の開催(年4回程度)		
公共施設 検討関係	地域意見 ↓	地域意見 ↓	
	公共施設再整備関連計画(方針・基本構想・基本計画)の検討		